

市立

小諸高原美術館・白鳥映雪館

毛並みの描写がすごい!

藪内正幸の世界 動物絵本原画展



動物画家・藪内正幸氏(1940 - 2000)は、動物への深い愛情とともに、尊敬の念を抱きながら生涯にわたって動物絵本や図鑑の挿絵を描いてきました。

丁寧な筆使いで描かれた藪内氏の作品は、温かみがあり、多くの人々に広く受け入れられています。

本企画展では、藪内氏のペン画、水彩画などの動物絵本の原画82点を展示します。



カメラにも頼らず、自らの目でしっかりと観察して描かれた動物たちの毛並みの描写にもご着目ください。

『どうぶつのおかあさん』表紙より

- ▶ **会期** 9/11(日) ~ 10/5(水) 9:00 ~ 17:00
- ▶ **会場** 第1・2展示室
- ▶ **休館日** 9/12(月)、20(火)、26(月)、10/3(月)
- ▶ **入館料** 一般500円(小・中学生250円)

【ギャラリートーク】

- ▶ **日時** 9/17(土) 13:30 ~ (1時間程度)
- ▶ **会場** 第1展示室
- ▶ **講師** 藪内 竜太氏(藪内正幸美術館 館長)
- ▶ **入場料** 一般500円(小・中学生250円)

※事前予約不要

☎ 小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎ 26-2070

昆虫写真家

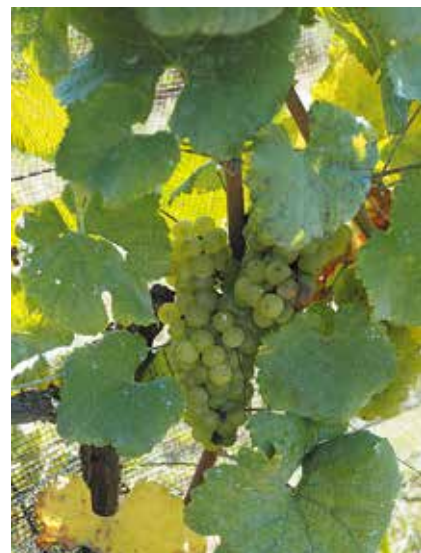
海野和男の小諸日記



ブドウ

小諸は夏暑く、冬寒い地域で、ブドウ栽培にはとても適した場所だ。以前は小諸でブドウと言えば、巨峰などの食用のものがほとんどだったが、最近はワイン用のブドウが多く栽培されている。小諸の気候は南仏とよく似ている。冬の寒さは小諸の方が厳しいと思うが、夏が乾燥気味で暑いのは南仏と同じで、ワイン用のブドウ栽培に適しているのだ。

ファーブル昆虫記で有名なアビニョン郊外にはブドウ畑が広がり、コート・デュ・ローヌという有名な赤ワインができる。アビニョンは法王庁があるので、そこで作られるシャトー・ヌフ・デュ・パプは特に評価が高い。フランスのブドウ栽培は棚方式でなく垣根式だ。小諸でも垣根式を取り入れている。垣根式は特にシャルドネ種の栽培ではメリットが大きいという。また背が低いので、脚立などもほとんど使わなくてすむ方法だ。9月は収穫期なので、糠地のブドウ畑を訪れてはいかがだろうか。アサギマダラもブドウ園にフジバカマが植えられているところがあり、多く見られる季節だ。



運用代行サービスいたします! twitter facebook Instagram YouTube Google Yahoo!

これから始めるWEB広告

こんなお悩みございませんか?

- WEB広告を出してみたいけど、何をすれば良いかわからない...
- 自社の商品・サービスをどうやってPRすれば良いかわからない...
- そもそも良くわからないし、忙しくてやってられない...

様々な種類のSNS・WEB広告を一括サポートします!

- Q1 どのくらい費用がかかるの? **1ヶ月の目安 66,000円~** (税込) ※契約期間6か月以上の場合、6か月に満たない場合、初期費用が必要となります。
- Q2 運用代行って具体的には何を? ●結果を分析し、予算の中で効率化します ●利用開始の手続き ●表示する広告原稿の制作(※制作する内容により、別途お見積り)など
- 内訳 ◎広告費: 33,000円~(税込) ◎運用代行費: 33,000円~(税込)

A/C 株式会社 アイク 小諸市御幸町2-12-1 Tel.0267-23-4474 www.aic-ad.co.jp